



オクムラ マサ オ
奥村 正雄

Masao OKUMURA

講演

研修

学術調査

コメンテーター

所属・職名

司法研究科 教授

研究分野

刑法学、被害者学

研究活動

- 1 刑法学:実行行為論について、不作為犯論、実行の着手論、不能犯論等を通して構成要件理論の中核としての理論的意義と、実践的意義を明らかにすることを目指している。
- 2 被害者学:①犯罪被害者等の経済的支援策として犯罪被害者等給付金支給制度、損害賠償命令制度などの現状と課題、②刑事手続上の被害者の権利・利益の擁護の観点から被害者参加制度における被害者の量刑意見の位置づけ、③犯罪被害者等に対する途切れない支援体制の構築などの理論的・実践的課題の追究を目指している。

主要な業績 (著作・論文・研究発表)

1「過失行為と緊急行為」 同志社法学377号(2015年)pp.219-254. 2「イギリスにおける犯罪被害者対策の現状と課題」被害者学研究25号(2015年)pp.89-111, 3「犯罪被害給付制度の現状と課題」同被害者学研究pp.131-148, 4「犯罪の不阻止と共同正犯」『川端博先生古稀記念論文集』(成文堂, 2014年)pp.635-661, 5「イギリスにおける未遂犯の処罰根拠」『曾根威彦先生・田口守一先生古稀記念論文集上巻』(成文堂, 2014年)pp.635-708.

社会活動・その他

日本刑法学会監事、日本被害者学会理事、日本法と精神医療学会監事、京都犯罪被害者支援連絡協議会会長

所属学会

キーワード

実行行為、実行の着手、不能犯、不作為犯、犯罪被害者、損害賠償命令、被害者参加、量刑
https://kenkyudb.doshisha.ac.jp/rd/html/japanese/researchersHtml/104046/104046_Researcher.html